

幼女(アメリカ内)戦記

ケツトル

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

もしも、あの幼女（中身おっさん）がkaiserreich世界のアメリカに転生したら…というお話です。ありそだと思ったらなかつたので書いてみました。

筆者は幼女戦記は原作（web版）とTV版のみ既読及び視聴済みです。書籍版、漫画版、映画版は未見です。

筆者の趣味により他作品（大体仮想戦記）の小ネタがあります。

幼女
(アメリカ内)
戦記

目

次

幼女（アメリカ内）戦記

「どうしてこうなつた」

アメリカ太平洋岸連邦^{P.}_{S.}^{A.}名前の元ネタは高い城の男だが、もちろん日本の傀儡国家ではない。アメリカ西岸国がしつくり来なかつたので改名。陸軍航空隊女子補助飛行隊所属の操縦士である彼女、味方からは白銀、敵からはコロラドの悪魔の異名で知られるターニャー・デグレチヤフは眼下に広がる景色を見ながらそう言つた。

下ではアメリカ太平洋岸連邦軍とアメリカ連合国軍が戦つていたが、両軍ともにM1921戦車史実におけるM1917戦車を運用しているため見分けがつかない。

識別用にアメリカ太平洋岸連邦軍は星条旗のカントンの部分のみを切り取つたような自国の旗を車体上面に描いているがやはりわかれにくい。ロツクアイランド造兵廠あるいはジエームズーカニンガム記念人民工廠と改名されたカニンガム社が彼我のどちらかの勢力圏内有ればM1926中戦車かM1軽戦車ともにカイザーライヒ本編では登場していないが本小説内では少数のみ量産されている設定の独特な形状で見分けがつくのだが：今はどちらもアメリカサンデイカリスト連盟^{C.}_{S.}^{A.}の支配下にある事を思い出して、やはり、アカはロクなことをしないなと思った。

ああ、全く何たることか、今やアメリカの大地は北東部を支配するジヤックリードのアメリカサンデイカリスト連盟、南部を支配するヒューアーロングのアメリカ連合国ワシントンD.C周辺と中西部を支配するコーンパイプおじさん率いる軍事政権となつてしまつたアメリカ合衆国、そしてターニャのいる西海岸を支配するアメリカの民主主義の最後の砦であるアメリカ太平洋岸連邦。あとプエルトリコは独立した。だから何だという話だが。

敵はアメリカ太平洋岸連邦以外の諸勢力だけではない。協商国^{P.}の盟主であるカナダはアメリカサンデイカリスト連盟の成立と共に介入してアラスカとニューアングランドを制圧した。自由の鐘は今頃大英博物館^{P.}はサンデイカリストの支配下だからオタワの歴史博物

館あたりに強奪されているだろう。その同盟国の大日本帝国はサンディカリズムの拡大阻止を理由にグアムやフィリピンに出兵している。たしか、グアムにいたのは合衆国に忠誠を誓う部隊でフィリピンでは選挙の結果民主主義陣営イベントによつてはサンディカリスト政権が成立したりするが勝利していた筈なのだが

協商国以外の動きも活発だ。赤くなつていたイギリスとフランスはアメリカサンディカリリスト連盟に多数の義勇兵を送つていた。ベルギーやインドシナ、そしてアルザスとロレーヌを巡つてサンディカリスト陣営との緊張が高まつていた先の大戦の勝者ドイツ帝国を中心とした帝国協定はアメリカ連合国に対し援助をしており、小説でも書いていればいいものの何の間違いか政権を握つてしまつたボリス・サヴィンコフが支配するロシア国はアメリカ合衆国に援助を行なつてゐる。アメリカ合衆国がロシア人から銃をもらうとはなんという皮肉か史実ではアメリカ合衆国のスマースー・アンドー・ウェツソンやウインチエスターなどの銃器会社はロシア帝国向けに多くの銃器を生産していた

不穏なうわさも数多く流れていた。戦前からの合衆国海軍のご自慢だつたティルマンの最大戦艦ロイヤルネイビーがN3級を真面目に作つたのでその対抗馬として建造されていたはトーマス・J・ジヤクソン艦名の元ネタはデュアルパシフィックウォーターと改名されて連合国海軍に編入された。サンディカリリストの支配下にあるデトロイトでは山のように兵器が吐き出されたり、早ければ来春にも大攻勢が行われるらしい。マッカーサーは敵対者を容赦なく拷問したうえで処刑しているらしい。大日本帝国がハワイを経由して西海岸に攻めてくる、いやハワイじゃなくてガラパゴス諸島経由だ。真珠湾奇襲後のアメリカ政府による国内プロパガンダの一つで日本軍の次なる戦略として宣伝されていたイギリス人はニューアングランドだけでなく北米全体を征服するつもりらしい。混乱に乗じてメキシコ人たちがアーバストランという新国家を作るために秘密裏に活動しているらしい元ネタはウォード・デイレーニン、トロツキー、スターリンなどのボリシェヴィキたちは実は生きていてロシア人を特權階級に

据えたアメリカ社会主義合衆国を建国する元ネタはクリムゾンバー
ニングつもりらしいなどといった嘘か本当かわからない様なうわさ
が飛び交っていた。

「おのれ、存 在^X自称神次こそ豚の餌にしてやる」

この世界では未だに出会った事はないが、こんな混沌とした世界に
自身を放り込むのはアイツしかいない、とターニャは思い呪詛を唱え
た。

ターニャー・デグレチャフという少女は大戦争の始まる一年前にカ
リフォルニア州のサンフランシスコのスラブ系ドイツ人移民の家庭
に生を受けた。そしてその年にうちに彼女には自我が芽生えた。

平和な日本で会社員として順風満帆な人生を歩むはずが些細な事
で駅のホームから突き落とされたこと、その時神を名乗るクソツタレ
に会つたこと、そのビジネスモデルの欠陥を指摘したら幼女の姿で周
辺諸国と一触即発の事態となつている帝国^(ライヒ)に転生させられたこと、魔
導士適性を認められたので軍へと入隊して、安全な後方勤務で出世す
る事を望んでいた筈がゼートウーア参謀次長の御眼鏡にかなつたの
か最前線送りになつた事、V.O.Bもどきで死ぬような思いをした事：
そうした記憶が彼女の脳に流れ込んできた。

だからこそターニャは生まれたての自身の性別に落胆する同時に
自宅の窓から見える星条旗に微かな喜びを感じたのだった。時代や
性別は違えどもまぎれもなく元々の自分が住んでいた世界に帰つて
きたのだと。

ズレを感じ始めたのは物心がつき始めた頃だった。大戦争、ターニャ
の知るところの第一次世界大戦は1918年を過ぎても終わらなか
つたのだ。それどころか本来敗北していた筈のドイツ帝国が勝利
してしまう。

さらにフランスとイギリスでは社会主義革命によつて真っ赤に染
まり、元々の政府はイギリスはカナダに、フランスはアルジエリアに
亡命する破目になつてしまつた。

これはおかしいと思いながらも、ターニャは生物学的にはともかく
精神的には立派な成人男性であるため、この時代の女性ならば当たり

前に用意されているはずの結婚という選択肢を回避するべく、自身の能力と経験をフル活用する事にした。

架空歴史小説という体で史実の歴史を書いてみたら、カナダから自身の作品の盗作ではないかという抗議の手紙が来て、差出人の名目を見たらチャーチルチャーチルの執筆した作品はカイザーライヒ作中におけるフューラーライヒの事で腰を抜かしたりするなどいくつかのアクシデントはあつたが、1925年の恐慌協商国崩壊によつて始まつたアメリカの経済危機。これによつて世界経済の中心はベルリンに移るも市場の動きを見て乗り切つて、概ね成功した若き独身女性という事で西海岸では知らないものは居ない存在になつたターニヤだつたが、そんな彼女の人生を一変させる出来事が起つた。

はじまりは1930年代末から始まつた、急進的な思想を唱える勢力、特にアメリカ社会党とアメリカ第一党の勢力伸長だつた。両党は比較的リベラルであつた西海岸でこそあまり勢力は伸ばさなかつたが、他地域では確実に勢力を伸ばしていき、ついに1936年の大統領選挙にてアメリカ第一党のヒューイ・ロングが大統領に就任してしまつた。

しかし、それに反発したマッカーサーがロングを追放し、軍事政権を樹立。すると、暴君の打倒を呼びかけたジャッククリードらアメリカ社会党が北東部でサンディカリリスト連盟を建国し、更にクーデターを生き延びたロングが南部でアメリカ連合国独立を宣言し、軍事政権、サンディカリリスト、ロングのいずれも認めたくない西海岸の三州はアメリカ太平洋岸連邦を結成してこれに対抗した。四つどもえのアメリカ内戦の始まりだつた。

軍事政権も、社会主義も、全体主義もターニヤの思想には合わなかつた為、彼女は軍に志願した上で後方勤務を希望し帝国^(ライヒ)とは違い妙な平等主義など無い、アメリカ太平洋岸連邦軍はこの願いを受理したが、ひよんなどから航空機への適性を見込まれて陸軍航空隊女子補助飛行隊に送り込まれてしまつた。それでも任務は航空機の前線への輸送などで比較的楽だつたのだが、あるときアメリカ合衆国軍の戦闘機の奇襲を受けてそれを返り討ちにしてしまう。

カリフオルニアの工場から出てきたばかりの銀色の機体で戦うその姿は意図せず、戦場の味方を鼓舞してしまい、以後白銀の名で呼ばれる事になる。ターニャは転生を繰り返しても戦争と縁が切れない己の運命に苦笑しつつ女子補助飛行隊初のエースもつとも補助飛行隊所属のパイロットがエースになつたのは後にも先にも彼女だけだつたとしてその名を知られ、劣勢なアメリカ太平洋岸連邦軍にとつては勝利の女神として持ち上げられることになる。：いつになつたら平和な後方勤務ライフを送れるんだろうか。まあアカやファシストちなみにカイザーライヒ世界のドゥーチェはアカであるや軍事政権の下で平和な日々を送るよりかは戦場に身を投じた方がましだが

『：リーグ、フェアリー08』

自身の人生を回想しながら、その境遇を嘆いている間に地上の味方から支援要請が届いていたらしい。

『08了解』

会社員であつた時も、魔導士であつた時も、そして今も業務内容こそ違えども仕事というものは本質的には変わらない。さて、今日も給料分の仕事をするとしようか